

# 政策シート 政策名 10 卸売市場の活性化による市民の食生活の安定

予算費目名 01 中央卸売市場事業特別会計

## 1 基本情報

### (1) 総合計画体系

分野 01 産業経済

**理想の姿 (30年後)** ◆創造性と安定性を兼ね備えた浜松の産業が、世界経済を支えている。

**政策の柱 (10年後)** ◆輸送用機器関連産業に次ぐ新たなリーディング産業が集積し、持続可能な地域経済が確立している。  
◆来訪者が浜松の魅力とおもてなしを実感し、リピーターが増えている。  
◆多様な担い手による付加価値の高い農林水産業が行われている。

基本政策 02 作業から経営に！ 変革を遂げる農林水産業

### (2) 政策の概要(当年度(2022年度)実施内容)

・市民が安全な食品を安心して手に入れることができるよう、卸売市場の機能を保全する。  
・卸売市場法改正や社会環境の変化に対応した施設整備と持続可能な管理・運営体制の実現のため再整備基本構想を策定する。

### (3) 関連するSDGsのゴール

②飢餓	⑩生産・消費								
-----	--------	--	--	--	--	--	--	--	--

## 2 政策コストの状況(千円)

	2019	2020	2021	2022	2023	2024
予算	685,028	592,391	537,861	630,815		
決算	662,071	592,391	537,861			
人件費(報酬等)(A)	367	357	153	153		
人件費(人工分)(B)	73,600	74,400	76,400	83,400		
年間経費(予算又は決算+A+B)	736,038	667,148	614,414	714,368		

## 3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
市場経営展望を経営戦略へ統合し策定する		目標	策定	策定				見直し
		実績	内部調整	策定				
卸売市場法改正による業務条例の改正		目標	改正					
		実績	改正					
市場の再整備		目標		課題整理	基本構想	基本計画	民活導入	民活導入
		実績		あり方検討	基本構想(素案)			

## 4 前年度(2021年度)政策評価

### (1) 前年度(2021年度)実施内容

・再整備基本構想策定に向け「基本構想策定支援業務プロポーザル評価委員会」を4月に設置するとともに、協議を行い再整備基本構想(案)の策定を進めた。  
・市場の附属機関である開設運営協議会及び市場の事業者で組織する「市場のあり方研究会」を開催し、基本構想(案)の進捗及び内容説明を行い、意見をいただくとともに、理解を図った。  
・市場再整備について、サウンディング型市場調査を実施し、民間事業者からの事業提案を募った。

### (2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

**<進捗>** 計画通り

・新型コロナウイルス感染症拡大の状況においても安全で安心な生鮮食料品等を市民に安定供給する使命を果たすことができた。  
・再整備基本構想(案)の策定、2022年度パブリックコメント実施後、基本構想を公表。  
・再整備による事業着手までには、期間を要することから、既存施設の修繕、整備等維持管理経費の増加が懸念されるため、優先順位を絞った施設整備工事を実施していく。  
・再整備の施設規模・配置、必要な市場機能、市場使用料の増加等、場内事業者との合意形成を要す。

◇政策実現のために実施する事業一覧

No.	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	中央卸売市場事業	—	—	○		698,523	616,370	7.8	3.0	1.0	5.0	153
2	中央卸売市場デジタル運営経費			—		15,845	14,445	0.2				
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						714,368	630,815	8.0	3.0	1.0	5.0	153

※人工単価(千円) 正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

## 事業シート (事業名) 01 中央卸売市場事業

### 1 基本情報

#### (1) 事業目的・事業対象

・市民が安全な食品を安心して手に入れることができるよう、卸売市場の機能を保全する。  
 ・卸売市場法改正や社会環境の変化に対応した施設整備と持続可能な管理・運営体制の実現のため再整備基本構想を策定する。

#### (2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2015	—	特別会計	自治事務(その他)	卸売市場法・浜松市中央卸売市場業務条例

#### (3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							
重点戦略	—	(戦略項目)							

#### (4) 関連するSDGsのゴール

②飢餓	⑩生産・消費								
事業とゴールの関連性	・生鮮食料品流通の拠点として、施設の適切な維持管理・保守により円滑な市場運営を行い、市場の適正な機能を確保する。								

### 2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	685,028	592,391	529,369	616,370		
	決算	662,071	592,391	529,369			
	国・県支出						
	市債						
	その他	255,161	235,530	162,730	288,830		
	一般財源	406,910	356,861	366,639	327,540		
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)	367	357	153	153		
	人件費(人工分)(B)	73,600	74,400	75,000	82,000		
人工	正規	7.0	7.0	6.8	7.8		
	再任用(31h)	3.0	4.0	3.0	3.0		
	再任用(26h)	1.0	1.0	1.0	1.0		
	会計年度任用職員(人事課予算)	4.0	3.0	5.0	5.0		
年間経費(予算又は決算+A+B)		736,038	667,148	604,522	698,523		

### 3 事業の指標の状況(2022:重点戦略最終年度、2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
市場経営展望を経営戦略へ統合し 策定する			目標	経営戦略策定	経営戦略策定				見直し
			実績	内部調整	策定				
卸売市場法改正による業務条例の 改正			目標	条例改正					
			実績	改正					
市場の再整備			目標		課題整理	基本構想	基本計画	民活導入	民活導入
			実績		あり方検討	基本構想(素案)			
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

#### 4 前年度(2021年度)事業実施内容 (Do)

- ・生鮮食料品流通の拠点として、施設の適切な維持管理・保守により円滑な市場の管理運営を進めた。
- ・再整備基本構想策定に向け「基本構想策定支援業務プロポーザル評価委員会」を4月に設置。
- ・再整備基本構想策定に係る庁内検討委員会を5回(6.8.11.2.3月)開催し検討を重ね基本構想(案)の策定を進めた。
- ・市場の附属機関である開設運営協議会を2回開催し、基本構想(案)の進捗及び内容説明を実施した。
- ・市場の事業者で組織する「市場のあり方研究会」及び青果・水産仲卸協議会を2回(8.12月)開催し、基本構想(案)について進捗、内容説明を行い周知を図った。
- ・市場再整備について、サウンディング型市場調査を実施(10月:5社参加)し、民間事業者から市場再整備手法、PFI導入の可能性、余剰地を活用したBtoB、BtoCなどの考え方について対話を実施した。



#### 5 前年度(2021年度)事業評価 (Check)

##### (1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ・新型コロナウイルス感染拡大の中、場内の感染予防対策を徹底し、市民へ生鮮食料品を継続して供給できた。
- ・老朽化の著しい施設・設備の適切な維持管理・保守に努め、市場の円滑な管理運営を行うことができた。
- ・基本構想(案)について、庁内検討委員会、開設運営協議会、あり方研究会等を開催し、内容を示すことができた。
- ・再整備手法のサウンディング型市場調査を実施し、民間事業者提案を受け、基本構想(案)に反映することができた。

##### (2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

- ・新型コロナ禍の緊急事態宣言等発出は、飲食店等休業による場内事業者の経営状況の悪化に繋がるため、売上高の減少による市場運営への影響を懸念するとともに、場内事業者への支援等の検討も必要である。
- ・ウイズコロナに対応していく市場取引の緩和、市場DXの取組みを検討する必要がある。



#### 6 事業の見直し (Action)

##### (1) 前年度(2021年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目  小項目  /  事業費  人工

- ・生鮮食料品流通の拠点として、施設の適切な維持管理及び施設整備を行い適切な管理運営を実施した。
- ・新型コロナウイルス感染症予防のため、場内施設16か所にアルコール消毒液を設置するとともに、感染者が発生した場合の事業者との連絡体制を確立し、拡大防止を図った。

##### (2) 当年度(2022年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目  小項目  /  事業費  人工

- ・生鮮食料品流通の拠点として、適切な施設の維持管理及び施設整備を継続し管理運営を進める。
- ・作成中の再整備基本構想(案)をパブリックコメントの実施により、広く市民からの意見を伺い策定する。
- ・基本構想策定後、再整備基本計画の策定、民間活力導入可能性調査の実施による事業費、人工の増加が見込まれる。



#### 7 当年度(2022年度)事業実施内容(Plan)

- ・引き続き生鮮食料品等の流通拠点として、施設の適切な維持管理・保守により円滑な市場の管理運営を行う。
- ・パブリックコメントによる市民からの意見を踏まえ再整備基本構想を策定し、議会報告を行う。
- ・市場再整備基本計画の策定と併せ、民間活力導入可能性調査の実施に向けた再整備スケジュールに沿った再整備計画を展開していく。

## 事業シート (事業名) 02 中央卸売市場デジタル運営経費

### 1 基本情報

#### (1) 事業目的・事業対象

- 卸売市場の機能の保全と防犯上の安全確保のため中央監視装置・自動検針システムの維持管理を行う。
- 卸売市場の公正公平な売買取引の確保のため、卸売取引の販売原票等電子システムの維持管理を行う。
- 24時間稼働の卸売市場の施設・設備の不具合に常時対応できるようICTを活用した維持管理を行う。

#### (2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2021		特別会計	自治事務(その他)	卸売市場法・浜松市中央卸売市場業務条例

#### (3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略		(施策)							
重点戦略		(戦略項目)							

#### (4) 関連するSDGsのゴール

② 飢餓	⑩ 生産・消費								
事業とゴールの関連性	・生鮮食料品流通の拠点として、施設の適切な維持管理・保守により円滑な市場運営を行い、市場の適正な機能を確保する。								

### 2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算			8,492	14,445		
	決算			8,492			
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金			8,492	14,445		
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)				1,400	1,400		
人工	正規			0.2	0.2		
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)				9,892	15,845		

### 3 事業の指標の状況(2022:重点戦略最終年度、2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
中央監視装置・自動検針システムの適正管理			目標			適正	適正		
			実績			適正			
販売原票電子システムの適正データ管理			目標			適正	適正		
			実績			適正			
タブレット端末による原因究明満足度(%)			目標				100	100	100
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

#### 4 前年度(2021年度)事業実施内容 (Do)

- ・中央監視装置、自動検針システムを委託により定期的な点検、部品交換を実施し(年1回)、機械装置の正常動作を図った。
- ・販売原票電子システム保守を委託により定期的実施し、事業者から提出される卸売のデータの適正な管理を行った。



#### 5 前年度(2021年度)事業評価 (Check)

##### (1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ・中央監視装置・自動検針システムの保守点検により、正常動作の維持ができた。
- ・販売原票電子システムの保守運用に努め、適正な販売原票データの管理を図ることができた。

##### (2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

- ・施設設備の老朽化が進んでいることから、保守、点検は、24時間稼働の市場運営に支障の来たすことのないよう常に注視していく必要がある。
- ・販売原票電子データは、卸売業者の卸売取引に係る法人データのため、データの漏洩等ないよう常に最新のセキュリティー強化を委託事業者との連携により図っていく。



#### 6 事業の見直し (Action)

##### (1) 前年度(2021年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目  小項目  /  事業費  人工

##### (2) 当年度(2022年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目  小項目  /  事業費  人工

- ・中央監視装置・自動検針システム保守は、築43年経過の市場施設・設備の維持管理に重要であり、市場再整備が完了するまでは、現システムの保持のため、部品消耗品の交換など定期的に行っていく。
- ・24時間稼働の市場の老朽化から、施設・設備の不具合の発生時、早期の原因究明のため、タブレット端末を用いて遠隔による応急対応等を可能にしていく。



#### 7 当年度(2022年度)事業実施内容(Plan)

- ・引き続き生鮮食料品等の流通拠点として、施設の適切な維持管理・保守をタブレット端末等の導入によって、さらに、円滑な市場の管理運営を行う。

# 政策シート 政策名 10 卸売市場の活性化による市民の食生活の安定

予算費目名 02 と畜場・市場事業特別会計

## 1 基本情報

### (1) 総合計画体系

分野 01 産業経済

**理想の姿 (30年後)** ◆創造性と安定性を兼ね備えた浜松の産業が、世界経済を支えている。

**政策の柱 (10年後)** ◆輸送用機器関連産業に次ぐ新たなリーディング産業が集積し、持続可能な地域経済が確立している。  
◆来訪者が浜松の魅力とおもてなしを実感し、リピーターが増えている。  
◆多様な担い手による付加価値の高い農林水産業が行われている。

基本政策 02 作業から経営に！ 変革を遂げる農林水産業

### (2) 政策の概要(当年度(2022年度)実施内容)

市民の食のニーズに応えるため、地産地消を基本に良質な食肉を市民に供給し、安全・安心な食の充実を実現する。

### (3) 関連するSDGsのゴール

②飢餓								
-----	--	--	--	--	--	--	--	--

### 2 政策コストの状況(千円)

	2019	2020	2021	2022	2023	2024
予算	339,746	348,700	327,000	323,000		
決算	317,342	331,451	320,200			
人件費(報酬等)(A)	304	21	21	305		
人件費(人工分)(B)	42,200	38,000	37,200	37,200		
年間経費(予算又は決算+A+B)	359,846	369,472	357,421	360,505		

### 3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
市場取扱高(千円)	千円	目標	5000000	5000000	5000000	5000000	5000000	5,000,000
		実績	5173075	5454458	5379622			
		目標						
		実績						

### 4 前年度(2021年度)政策評価

#### (1) 前年度(2021年度)実施内容

市民の食のニーズに応えるため、地産地消を基本に良質な食肉を市民に供給し、安全・安心な食の充実を実現する。

#### (2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗> 計画通り

市民の食のニーズに応えるため、地産地消を基本に良質な食肉を市民に供給し、安全・安心な食の充実を実現した。

#### 課題

生産する食肉の品質を高め、家畜の集荷対策にプラスに働くために機械設備の老朽化対策を実施する。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	と畜場・市場事業	—	○			360,505	323,000	4.0	1.0		2.0	305
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						360,505	323,000	4.0	1.0		2.0	305

※人工単価(千円) 正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800



## 事業シート (事業名) 01 と畜場・市場事業

### 1 基本情報

#### (1) 事業目的・事業対象

市民の食のニーズに応えるため、地産地消を基本に良質な食肉を市民に供給し、安全・安心な食の充実を実現する。

#### (2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1953	-	特別会計	自治事務(その他)	と畜場法・卸売市場法・浜松市と畜場条例・浜松市地方卸売市場業務条例

#### (3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							
重点戦略		(戦略項目)							

#### (4) 関連するSDGsのゴール

	② 飢餓								
事業とゴールの関連性	市場による公平・公正な食肉の価格成形を確保することにより、継続的に安定した食料を供給する。								

### 2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	339,746	348,700	327,000	323,000		
	決算	317,342	331,451	320,200			
	国・県支出						
	市債						
	その他	5,088	4,565	5,073	5,054		
	一般財源	152,563	159,792	158,383	156,501		
	一般会計繰入金	159,691	167,094	156,744	161,445		
人件費(報酬等)(A)	304	21	21	305			
人件費(人工分)(B)	42,200	38,000	37,200	37,200			
人工	正規	5.0	4.0	4.0	4.0		
	再任用(31h)	2.0	2.0	1.0	1.0		
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)		1.0	2.0	2.0		
年間経費(予算又は決算+A+B)		359,846	369,472	357,421	360,505		

### 3 事業の指標の状況(2022:重点戦略最終年度、2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
				(R1)	(R2)	(R3)	(R4)	(R5)	(R6)
市場取扱高(千円)			目標	5,000,000	5,000,000	5,000,000	5,000,000	5,000,000	5,000,000
			実績	5,173,075	5,454,458	5,379,622			
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

#### 4 前年度(2021年度)事業実施内容 (Do)

総務費  
**【と畜】** 地域の産地から牛や豚を集め、と畜場法で定められた食肉衛生検査に合格したものを枝肉や部分肉として流通させる。  
**【セリ】** 食肉の健全な価格形成のため、定められたせり割合を遵守するよう指導・監督する。  
**【品質管理】** 品質管理者による適切な管理で、市民に安全な食肉を供給していく。  
**【トレーサビリティ】** 個体識別番号や産地などの情報を消費者に伝わるよう食肉に識別票を付けて販売を行う。  
 公債費 設備投資による借り入れの返済  
 予備費



#### 5 前年度(2021年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題  
 指標の達成度   
 総務費  
**【と畜】** 地域の産地から牛や豚を集め、と畜場法で定められた食肉衛生検査に合格したものを枝肉や部分肉として流通させた。  
**【セリ】** 食肉の健全な価格形成のため、定められたせり割合を遵守するよう指導・監督した結果、守られた。  
**【品質管理】** 品質管理者による適切な管理で、市民に安全な食肉を供給してした。  
**【トレーサビリティ】** 個体識別番号や産地などの情報を消費者に伝わるよう食肉に識別票を付けて販売を行った。

課題  
 生産する食肉の品質を高め、家畜の集荷対策にプラスに働くために機械設備の老朽化対策を実施する。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



#### 6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2021年度)見直し内容(実施結果の振り返り)  
 大項目  小項目  /  事業費  人工   
 事業全体の人工を見直し、施設管理業務に関する事務を正規職員(1人工)から会計年度任用職員(1人工)にした。  
 日常の設備点検と老朽化対策修繕を実施したため、操業に影響する障害が発生することなくと畜場及び市場業務を運営することができた。

(2) 当年度(2022年度)以降見直し内容(今後の方向性)  
 大項目  小項目  /  事業費  人工   
 事業全体の人工を見直し、施設管理業務に関する事務兼機械操作員を再任用職員(1人工)から会計年度任用職員(1人工)にした。  
 施設設備の保守を継続して行っていく。より安全・安心な食肉の供給拠点としてその機能を果たすべく、老朽化対策工事を進めていく。



#### 7 当年度(2022年度)事業実施内容(Plan)

総務費  
**【と畜】** 地域の産地から牛や豚を集め、と畜場法で定められた食肉衛生検査に合格したものを枝肉や部分肉として流通させる。  
**【セリ】** 食肉の健全な価格形成のため、定められたせり割合を遵守するよう指導・監督する。  
**【品質管理】** 品質管理者による適切な管理で、市民に安全な食肉を供給していく。  
**【トレーサビリティ】** 個体識別番号や産地などの情報を消費者に伝わるよう食肉に識別票を付けて販売を行う。  
**【新食肉センター再編整備事業に対する負担金】**本市食肉地方卸売市場と小笠食肉センターを静岡県食肉センター再編推進協議会が事業実施主体及び静岡県が施設整備主体となり小笠において再編・整備する事業を支援し、食肉の安定供給と畜産振興を図る。  
 公債費 設備投資による借り入れの返済  
 予備費